

# 速度取締指針

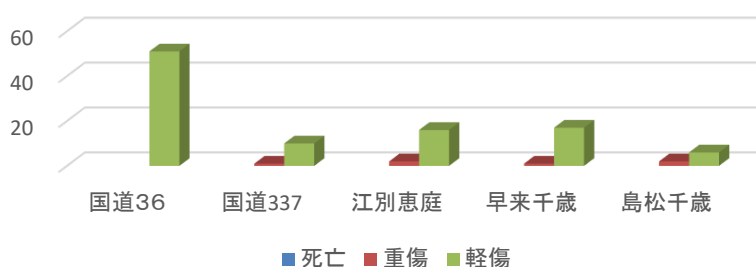
## 千歳警察署の速度取締りの重点

路線	時間帯	地域	規制速度
国道36号	15時～18時	市街	指定速度(50km/h)
早来千歳線	9時～12時 13時～16時	市街	指定速度(50km/h)

重点以外の路線や時間帯であっても、必要に応じて取締りを実施します。

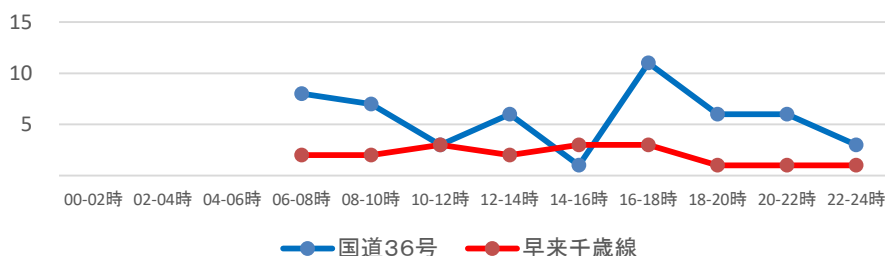
## 千歳警察署管内の交通事故実態等

路線別人身交通事故発生件数(7月～9月過去5年)



- 過去5年の人身交通事故発生件数を主要道路別に比較すると、国道36号、道道早来千歳線、道道江別恵庭線の順となっています。
- 発生件数や重傷事故の割合が比較的高い国道36号と道道早来千歳線を速度取締重点路線としています。

国道36号線・道道早来千歳線 時間帯別人身交通事故発生状況 (7月～9月過去5年)



過去5年の国道36号と道道早来千歳線の時間帯別人身交通事故発生状況を見ると、国道36号は16時から18時に、道道早来千歳線は10時から12時、14時から16時に多発しています。

### 道路交通環境

- ◆ 千歳警察署は、千歳市と恵庭市の2市を管轄し、管内には新千歳空港が所在しており、道内交通の要衝となっています。
- ◆ 取締重点の国道36号は、札幌と地方都市を結ぶ主要国道で、大型車両の交通量が多いほか、レンタカーを利用する旅行者も多くなっています。また、千歳市街地を横断する道道早来千歳線は、大型商業施設が建ち並んでいることから交通量も多くなっています。
- ◆ 郊外には支笏湖などの観光地があり旅行者等の往来が多く、鹿などの野生動物が道路を横断する際の衝突事故が多くなっています。

～ 昨年(令和4年7月1日から令和4年9月30日)における千歳警察署管内人身事故の特徴 ～

人身事故は総数47件でそのうち57.9%が市街地の交差点で発生しています。事故類型では、車両相互の追突、出会い頭事故が52.4%を占めており、車間距離の不保持、交差点通過時の安全確認不足が要因とみられます。

その他、敷地内から車道に出際の歩行者・自転車との衝突事故も発生しています。車道手前での十分な安全確認をお願いします。

### その他の交通指導取締りの要点

速度取締りのほか、市街地における交差点違反、シートベルト違反の取締りを強化します。